

「全員参加でさらなる活力」



国際ロータリー第 2750 地区 多摩中グループ

東京昭島中央ロータリークラブ

TOKYO AKISHIMA-CHUO ROTARY CLUB.

2012 年(平成 24 年)5 月 16 日(水)
第 1076 回 例会報告

事務局 〒196-0034 東京都昭島市玉川町 3-10-1 ヒルパークハイツ 1F TEL 042-544-1001 FAX 042-544-1002

●本日の司会 (曳地 義正 SAA)

●開会点鐘 (佐藤 義弘会長)

●ロータリーソング「我らの生業」斉唱

●本日のお客様

多摩中グループガバナー補佐 藤波 璋光様
多摩中グループグループ幹事 中里 芳治様
東京青山ロータリークラブ 林 達夫様
青少年交換留学生 ガブリエラさん
米山奨学生 金太月さん

●会務報告 (佐藤 義弘会長)

当クラブでは今年度公益財団法人 CIESF という団体に協力して、カンボジアへの教育支援をする世田谷 RC が主催のプロジェクトへ参加しております。10 万円を寄付し、また会議等への参加もしております。その活動にたいし CIESF から感謝状が届いております。

来週の例会よりクールビズを実施したいと思いますので、ご協力お願いいたします。

●RLI 卒業証書・バッチ授与



小島弘明会員

小島会員が RLI (ロータリー・リーダーシップ・インスティテュート) という研修会へ、昨年から今年にかけて 3 回、朝 9 時から 6 時まで研修を受けて見事修了いたしました。

●米山奨学金授与 (米山奨学生 金太月さん)

●委員会報告(小島 弘明環境保全・社会奉仕委員長)

先日皆様に説明をいたしました東日本大震災復興支援の岩泉町への流出図書贈呈の件ですが、満額支給されることとなり、今現在岩泉町の 2 つの書店へ発注をかけています。それが終われば、贈呈式を会長・幹事でしていただき、ガバナー事務所へ報告をして完了となります。ご協力ありがとうございました。

●卓話「卓話の達人・人生浪花節」

東京青山ロータリークラブ 林 達夫様

★講師紹介 (前澤 外喜男会員)

林様は昭和 7 年武蔵野生まれで、昭和 31 年慶応大学文学部卒業、33 年林組 (現アークデザイン) 入社、46 年同社代表取締役就任、経済同友会会員、日本社長会会員、日本青年会議所特別会員、東京青山 RC 会員です。通称は「人呼んでお洒落の林達 (リンタツ)」でございます。今日で 1516 回目の卓話でいらっしゃいます。



最近の若い者に浪花節なんてことを言うと、古いですよと笑われます。カラオケなどに行けば、「マイウェイ」などという横文字を歌う者もいます。ではその人が本当に国際派であるかということ、現実には浪花節で生活していることに気づき、慌てたり戸惑ったりするのです。

今日もガバナー補佐とグループ幹事がわざわざ来ているが、役職上仕方がないなと思って来ているわけです。会員だって会長の顔も立てなきゃならんということであるわけです。これは、皆浪花節なのです。私はどうなのか。まあ、色々あるのだけれどもしかし、ロータリークラブ或いは青年会議所でお世話になっているので、前澤さんから頼まれるとそれに応えなきゃならないだけの恩義があるわけです。これも浪花節なのです。

結局私達経営者というのは、経営三要素 (人・物・金) で成り立っています。その中の無いようであるものが物

と金です。有るようで無いものが人です。経営者はその人財がどれだけ自分の傍に居てくれるかが、最も大事なことです。何かの時に自分の心の支えになるような人がいなければ、それは本当に不幸な話です。それを求めていくには、色々な会合に出なければいけないわけで、ロータリーはそういう面では必要なものです。

「心の中を見つめよう博愛を広げるために」なんて偽善者みたいなことを言ったって、そんなものの為に入ってくる奴なんかどこにもいません。最初は俺とお前おもしろいなあ、心が和むなあ、じゃあまた来週なというのがあって、そのことが延いてはこのテーマになるわけです。目的を先に言うってしまうから、なかなか会員の拡大が出来ないっていうのは、誘いに行っている奴が馬鹿だと思えます。

どんな人に出会うのが大事かという話で、私が青年会議所にたまたま入ったところ、それが素晴らしい団体で会合が6時～9時で、私が遅れてしまいました。急いで中に入ったら、委員長が私に「林君、委員会は6時からやっているのですよ」と言ったのです。その言い方も正しいのでしょうか、もう一つ正しい言い方があったのだらうと思います。「おうよく来たな、忙しかったのかい」と言われたら、どちらが申し訳ないと思いませんか。

そんなことがあって、それ以来8年間青年会議所には行ってなかったのですが、ひょっとしたことが人の気持ちを掻き立てることがあるわけです。あの有名な牛尾治朗に会った時、「林達夫君、俺理事長やっているのだよ、ひとつよろしく頼みますよ」と私の事を生まれて初めてフルネームで呼ばれて驚きました。どんな事があっても人の上に立つ者は、キチンと上から下まで名前を呼ぶてことが大事です。

青年会議所の委員会に入ってセミナーをやるというので箱根の富士屋ホテルを取りました。講師は誰を呼ぶかとなった時に、三菱銀行頭取の田実渉へ交渉して来いと言われました。電話をしてお願いしたと、意外に簡単に引き受けてもらいました。当日準備をして1時間も前から玄関へ出て、田実さんを待っていたら丁度いらっしやって、秘書が同行していなかったもので、俺がお世話をすることになりました。そんなことがご縁で田実さんの元へしょっちゅう遊びに行くことになりました。

青年会議所の理事長選を降りると牛尾治朗氏に言われた時に、田実渉氏へ相談したところ「後ろ盾になってやるから立候補してみろ」と言われました。でもそこで俺は、この理事長選は譲ってしまおうと思いました。そのように言われるということは、降りても価値のあることかもしれないと思ったからでしょう。先方に譲ると言ったので、先方は安心したようですが、私は涙に暮れました。

しかし、それがご縁で1,250ヶ所に及ぶスピーチをしてまわるというきっかけになりました。

田実さんに結果を報告に行ったところ、「林君、物事をやるのに何も君が先頭に立たなくてもいいのだ、それよりも君の考え方を誰かが受け継いで物事が改められたほうが余程君の値打ちが上がるよ」「世の中というのは必ずどこかで誰かが見ていてくれるよ」と言われました。私がなぜ降りたのか分からないのだけれども、構えて相談に行ったところが逆の答えを言われたものだから、自分はガクッときてしまって戦う意欲をなくしてしまったのだと思います。あの方は林達夫の性格を見抜いていてどのような言い方をしたらいいのか、分かっていたのだと思います。もし私がバックに付いているからと立候補をしたら、二度と私には会ってくれなかったでしょう。

●二コニコBOX発表 (荒川 義昭親睦委員)

- 佐藤会長 藤波ガバナー補佐、中里グループ幹事、林達夫様ご来訪ありがとうございます。林様には本日の卓話ありがとうございます。
- 蜂巢幹事 藤波ガバナー補佐様、中里グループ幹事様、林達夫委員長様、本日はご来訪ありがとうございます。
- 西野会員 藤波ガバナー補佐、中里グループ幹事様、1年間、大役お疲れ様でした。
- 荒川会員 藤波ガバナー補佐、中里グループ幹事ご来訪ありがとうございます。林様本日卓話ありがとうございます。
- ・佐々木会員 楽しい卓話ありがとうございます。
- ・富田会員 林先生、本日は卓話ありがとうございます。
- ・前澤会員 林先生の卓話に感謝して二コニコします。

●出席報告 (石岡 孝光出席委員長)

会員数	44名	出席義務会員	42名
本日の出席	20名(メイクによる出席者数を除く)		

●ご挨拶

多摩中グループガバナー補佐 藤波 璋光様
多摩中グループグループ幹事 中里 芳治様



皆様のお陰で、素晴らしい1年を過ごさせていただきました。ご協力ありがとうございました。

●次週例会予定 (荒川 義昭プログラム委員長)

5月23日(水)卓話「東日本大震災における病院の対応」
東京西徳州会病院 事務局長 石川 一郎様

●閉会点鐘 (佐藤 義弘会長)